

# Sports Net ちば No. 156

New Japan Sports Federation in Chiba Prefecture

2015年4月5日

「スポーツは平和とともに」

新日本スポーツ連盟  
千葉県連盟

〒263-0024

千葉市稲毛区穴川3-1-17

TEL043-287-7353 FAX043-256-1454

[http://sports.geocities.jp/njsf\\_chiba](http://sports.geocities.jp/njsf_chiba)

メール njsf1970chiba@gmail.com

## 若者の力・経験豊かな力を基に更なる発展を 第43回千葉県連盟定期総会を開催

3月14日、千葉県スポーツ科学センターにおいて第43回定期総会が、全国連盟より小林章子副理事長を迎え、オブザーバー7名を含む総数42名の過去にない多数の参加を得て開催されました。

総会の議長および書記を各々理事・代議員から選出したあと、園川理事長は、今年はスポーツ連盟創立50周年の年でもあり先の評議員会で決定した組織拡大10パーセント増し、スポーツのひろば誌2500部の全国目標に向け一丸となって千葉県連盟でもおおいに力を発揮しようとの挨拶がありました。



(挨拶をする園川理事長 隣は議長の磯部・脇村さん)

小林副理事長からは機関誌拡大の千葉県での勇躍を評価していただきました。また、東京都連盟、京都府連盟からも今大会への連帯、お祝いのメッセージをいただきました。

金子事務局長の議案書説明のあと、討議に先立ち国内情勢の補足説明として最新調査による公共スポーツ施設の深刻な現状報告として(1996年~2008年の12年間に11796箇所)の減。年間平均約千件のテンポで全国各地の公共施設が消えている。テニスは76.1%、プールが79.0%野球場が85.2%にまで落ち込み、多様な室内競技の拠点でもある体育館もこの間750箇所が姿を消しており住民のスポー

ツ活動にとって見逃せない状況。また、学校施設や民間施設も後退している等)がありました。

次に総会の副題でもある=世代的継承を念頭に、新たな連盟づくりのスタートを=を柱にして討議を行いました。最初に協議会の中でも一番若手がしめるサッカー協議会の代議員からは若手の育成に苦慮しているとの言葉には皆、苦笑。野球協会の三上代議員からはスポーツ連盟を多くのものに知らしめることが慣用、多くの人に声をかけたり、話をするのが大事、名刺の裏にスポーツ連盟の役職を記述し、裏側から差し出すと皆が見てくれる。

そんな工夫をして連盟の存在を質より量でおおいに宣伝しているとのこと。(量から質への転化に期待します)スキー協議会からは先年は大雪のため中止せざるを得なかったが今年は初めてバス2台で実施。志賀高原という良質のスキー場で、しっかりした指導員体制を組み実施すれば、費用は多少掛かっても組織拡大はできるのではないかと報告がありました。



(スキーサークルの報告をする鳴海オブザーバー)

スキー祭典に参加した他協議会の代議員からは異なった種目競技に参加することの意義はあるとし、他の代議員からも他協議会との連携行動は県連

盟を機軸に発展させたいとの発言がありました。

連盟組織の担い手として、世代継承もさることながら、シニア世代でもおおいに行動できる証左のエピソードを一つ。全国大会にも出場した卓球協の岸田代議員(76才)は61才のおり、自動車の免許を取得すべく静岡まで赴き、免許を取得後自動車を購入し、周囲の心配も何のその、高速道路を疾走。無事千葉に帰着したとのこと。

これだけのバイタリティーがあれば若手などに負けない活動ができるのではないのでしょうか。



(全国大会の報告等を若々しく発言する岸田代議員)

議案書の検討では懸案事項の規約改正(常任理事以外の理事は運営委員会等で代議員として選出することができる)を時間をかけ審議しました。他の項目については質問等もなく採択に入りました。事務局で用意したピンク色の代議員証を全代議員が高く掲げ、総会議案書は了承されました。

総会後は通例の「亀八」にて懇親会。そこでは、代議員から議長に選出されたサッカー協議会磯部代議員の采配に賞賛の拍手があり、次年度もお願いしたいとの意見が多数を占めました。

(文責 浅沼 義明)



(総会に参加した理事・代議員の皆さん)

## スリーダブルス卓球大会 82チームが参加

恒例のスリーダブルス女子団体戦が3月5日(木)千葉公園体育館で開催されました。

この大会は賞品が鉢植えの花であることから《お花の大会》として人気のある大会です。今年は木曜日の開催で他の家庭婦人の行事と重なり参加チームは例年よりやや少なかったものの82チームが参加。1位のゼラニウムを目指し熱戦が繰り広げられました。各ブロックの優勝チームは以下の通り

### Aランク

Aブロック 杏仁クラブ (船橋市)

### Bランク

Aブロック 千城クラブ (千葉市)

Bブロック 青野クラブ (千葉市)

Cブロック ラズベリー (市原市)

Dブロック フォルテ (市原市)

### Cランク

Aブロック かずさC (木更津市)

Bブロック AOKクラブA (船橋市)

Cブロック AOKクラブB (船橋市)

Dブロック あすなろB (君津市)

Eブロック 真砂ファイブ (千葉市)

Fブロック 卓球アリスB (市原市)

Gブロック MSC (千葉市)

### Dランク

Aブロック パピヨンA (千葉市)

Bブロック ドロップ (千葉市)

Cブロック チェリーズC (船橋市)

Dブロック 富津クラブ (富津市)



いつもは対戦しない相手と試合が出来、勉強になって良かったと思います。(ラズベリー)

やはり若いチームにはかないませんでした。楽しく試合が出来ました。今度は優勝めざして頑張ります。(あすみが丘卓球クラブ)

楽しく出来ました。早めに終わり、もっと試合数が出来たかな?なんて思ったりして。(MSC)



## クラブ紹介 拓大紅稜高校バドミントン部 バドミントン協議会 (準)

前号に続き高等学校バドミントンクラブを紹介し  
ます。3月28日(土)習志野市袖ヶ浦体育館で開催さ  
れた春季バドミントン大会でお聞きました。

- ①クラブ名 拓大紅稜高校バドミントン部
- ②代表者名 鈴木高弘先生
- ③連絡先 木更津市桜井1403
- ④クラブの概要(チーム名の由来・練習日程・人数  
練習場所等)

拓殖大学紅稜は「人生開拓」と教育理念「文武両  
道」を目指し、目標として掲げられています。

練習日程はほぼ毎日平日は16:20～19:00  
土日は午前9:30～ 午後13:00～16:30  
部員は男子13名 女子10名 合計23名  
練習場所は本校体育館 2F



(後列 右端が顧問の鈴木高弘先生)

### ⑤クラブのアピール

千葉県私立学校大会で女子ベスト4位  
男子ベスト8位  
関東地区予選で男女団体が優勝  
総合体育大会男子団体 ベスト16位  
男女ダブルス ベスト16位  
男女シングルス ベスト16位



大会の本  
部を担って頂  
きました

### ⑥スポーツに関する情報(大会の様子等)

一般の大会は生徒だけでなく社会人の方も参加  
しているので私たちにとってとても良い勉強になり  
ます。市民大会などにも参加して成績を出したいで  
す。



### ⑦顧問の先生を紹介してもらいました。

男子顧問 島村先生

主に男子を中心に指導しています。ゲームスタ  
イルを良く教えてくれます。

女子顧問 鈴木先生

女子中心の先生です。とても優しく練習メニュー  
を良く考えてくれます。

## バドミントン協議会 (準) 年間大会予定

### ① 男女団体戦

6月27日(土) 習志野市袖ヶ浦体育館  
男女団体戦 4～8人 2試合保障  
参加費 8000円  
募集 5月18日～6月16日

### ②第41回千葉県スポーツ祭典

9月12日(土) 千葉公園体育館  
男女個人戦 ダブルス大会  
参加費 1ペア 3000円

**全国大会予選会** 募集8月3日～8月22日

### ③冬季バドミントン大会

12月26日(土) 千葉県総合スポーツセンター  
男女団体戦 4～8人 2試合保障  
参加費 8000円  
募集 11月16日～12月5日

### ④春季バドミントン大会

2016年3月26日(土) 千葉県総合スポーツセンター  
混合団体戦 4～8人 2試合保障  
参加費 8000円  
募集 2月15日～3月5日

## 50周年・スキー祭典を終えて スキー学校校長 佐藤和夫

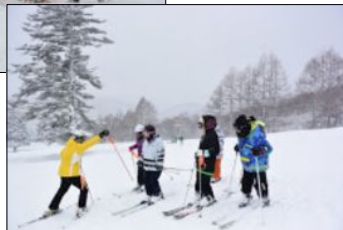
### 前号に続き、スキー祭典の様子をお知らせします。

今年は50周年を記念して、バス2台で祭典を盛り上げようと実行委員の面々、何時になく張り切って事に当たりました。

月1回のペースで実行委員会を開催、討論を重ね、準備して80名余りの参加希望者を確保しました。しかし、開催日が近づくにつれてキャンセルが続出、結果60名余名、バス2台で実施することになりました。私の班の事を中心に3日間の行動を述べたいと思います。



ホテル前の様子



班ごとの指導

初日は雪降りしきる中、開校式、講習と技術班別に、例年通り順調に終わりました。

翌日は猛烈な吹雪。ホテルのロビーでゴンドラやリフトの運行状況をリアルタイムに入手、動いているという知らせがなかなか来ませんでした。予定では9時前に講習開始の予定でしたが、9時を過ぎても始められない状況で待機していました。

そのうちに「焼額のゴンドラが動き出した」「一ノ瀬のリフトが動いている」との連絡が入りました。早速上級者グループが行動を開始しました。「ブナ平らのリフトも運行し始めた」との連絡を受け私共残った班もゲレンデへと急ぎました。

新雪の練習に専念することにしました。しかし降り積もる雪の多さと風の為数本滑って一ノ瀬へ移動しました。そこで1本滑ってレストランに入りました。

外は風が強く、地吹雪の状態でした。練習には条件が悪すぎるのでゆっくり昼食をとり様子を見ることにしました。

レストランも混みだしたので長居も出来ずゲレンデに出ました。少し練習をしましたが風も強く、舞い上がる雪で視界も悪く、練習にはなりません。

また周辺のリフトも止まりだしたのでシャトルバスでホテルに帰ることにしました。

やっとの思いでホテルに着きました。しかし雪も小止みになってきたからとホテルに入らず、ブナ平に移動し、休憩を入れながら夕方まで滑りました。

最終日は朝から快晴。皆さんは朝風呂でガラス越しにアルプスの山々を眺め、どここのゲレンデを滑るのだと意気軒昂でした。

昨日とは打って変わり、良く整備されたゲレンデと好天に恵まれ、場所を移動しながら技術の向上に専念・練習に励みました。コブ斜面や急斜面に挑戦。大変満足したとのことでした。

帰りの車中でも参加して良かったとの声も多く、来年の祭典に新しい光が射したように思えました。

実行委員の皆様の働きぶりは大変なもので少人数にもかかわらず、役割を分担しそれぞれ確実にやり遂げたことが成功の礎になったのだと思います。

終りに、寝不足のまま、コーチをしたり、参加者の面倒をみたり、一人何役もこなして、陰に陽に参加された皆さんに満足がいくよう尽力された実行委員の皆様に敬意を表すると共に感謝する次第です。



(ロビーの様子)

### ボランティア募集

#### 貴方の手伝いを待っています

今年(2015年度)創立45周年を迎えた千葉県連盟では、連盟の仕事を手伝って頂ける方を捜しています。

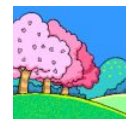
年齢は問いませんが、パソコン(ワード・エクセル)が出来ることが条件です。些少ですが、交通費等をお支払いする用意があります。

連絡先は以下の通りです。

TEL 043-287-7353

FAX 043-256-1454

メール njsf1970chiba@gmail.com



## NJSFスポーツ科学研究所 シンポジウムに出席して 秋本信孝常任理事

シンポジウムは3月28日に行われたが、その前日の27日には第2回運営委員会が行われ、研究所の当面の活動、財政計画、『研究年報』について討論された。また次回運営委員会は6月に(スカイプで)、第2回研究会は9月に関西で行うことが確認された。年報については実践的活動とアカデミックな活動の有機的な結びつきを可能とする成果物となるように位置づける必要があることを確認。

翌28日午前9時から場所は同じ帝京平成大学池袋キャンパスで、第1回研究討論会が行われた。報告者は宮内泰明(都連盟事務局長)と市井義興(立命館大学准教授)の両名。



左から2人目が宮内氏その隣が市井氏  
左端青沼事務局長

宮内氏は「2020オリンピック・パラリンピックを考える～2020オリパラ都民の会の活動から～」と題した報告の中で、実行委員会として「2020東京招致にあたって」声明を発表、IOCへも異議ありの声明を英文で送付。その過程で「都民の会」が発足。2014年6月、舛添知事が競技場計画見直し発言、昨年12月「アジェンダ2020」がIOC臨時総会で採択IOC。広報担当ロックスバーク氏と都民の会面談(昨年6月から今年2月までに3回)。都民の会のような「批判的擁護派」の声は歓迎!? レガシーを生かすとしながら組織委員会は3月3日国立競技場の解体を本格始動。「アジェンダ2020」の実践的なモデルケースとなる持続可能な大会とするためにはどうかと提案。

市井氏は「オリンピックを問い直す～レガシー創造におけるポリティクスの把握に向けて～」と題した報告の中で、レガシーを構想する部隊と具体化を進める部隊との関係に注目、「アジェ

ンダ2020」で持続可能なオリンピックムーブメントを掲げているが2020東京オリ・パラで可能かどうかにも疑問を呈した。例えば共創協議会の事務局は(株)三菱総合研究所であったりして、従来型の開発優先路線とのせめぎ合いも予想されると。

午後からは会場を日本青年館(3月いっぱい閉館→解体・移転)に移し、スポーツ科学研究所第1回シンポジウムが行われた。テーマは『2020東京オリンピック・パラリンピックに向けてスポーツ科学研究とアスリート・サポートのあり方を検討する』であり、シンポジストは川原貴(国立スポーツ科学センター長)と荒木秀夫(徳島大学総合科学部教授)の両名、コーディネーターは山崎健(スポーツ科学研究所所長)であった。

正面左から山崎  
研究所長  
中央と隣りがシン  
ポジストの荒木  
氏・川原氏



川原氏は「JISSによるアスリートの科学サポートのこれまでとこれから」と題し、国立スポーツ科学センター設立の経緯、日本における選手強化と医・科学、各国との比較、科学サポートの現状と今後のあり方について話された。聞き手側も医・科学の教養を必要とされる部分もあり、苦労した面もあった。荒木氏は「トレーニング研究とアスリート・サポートはどうあるべきか」と題し、コ(オ)ーディネーショントレーニング再考(誰もがやっているものは正しいのか?)、コ(オ)ーディネーションの思想的背景、ロボット工学との関連、筋肉を肥大させるのではなく、「最小の筋力で最大の能力を」という今までの「常識」の転換を。組み合わせる能力の開発を、無理やり出来るようにさせたものは他で通用しない。「出来た出来ないでの評価」の否定、6歳、12歳、18歳で身体感覚は変わる。早期教育(トレーニング)の弊害、脳の可塑性の大切さ、等々興味深い話であった。



(解体の進む国立競技場)

# 4・5月行事予定

4月 5日(日)野球協議会リーグ戦	5月 2日(土)春季卓球大会
4月12日(日)野球協議会リーグ戦 春のバレーボールフェスティバル	5月 3日(日)野球協議会リーグ戦 シニアテニス大会
4月18日(土)春のバレーボールフェスティバル	5月 4日(日)野球協議会リーグ戦
4月19日(日)野球協議会リーグ戦 祭典・サッカー大会	5月 5日(日)野球協議会リーグ戦
4月25日(土)春のバレーボールフェスティバル	5月 6日(休)野球協議会リーグ戦 春季テニス大会
4月26日(日)野球協議会リーグ戦 春季テニス大会	5月10日(日)野球協議会リーグ戦
春のバレーボールフェスティバル	5月17日(日)野球協議会リーグ戦
4月29日(日)祭典・ミックスバレーボール 春季テニス大会	5月24日(日)野球協議会リーグ戦 青葉の森リレーマラソン 春季テニス大会
ランニング総会 4月28日(火)	祭典・サッカー大会
空手協議会総会 4月29日(祭)	5月31日(日)春季テニス大会(予備日)

## 第49回全国軟式野球大会千葉県大会・途中経過

○勝点3 ●勝点0 □勝点1(引分) △勝点3 ▲勝点-1(不戦敗) ▽勝点3  
▲勝点0 ★勝点-1(審判遅刻・欠席) ◆試合放棄-3(誰も球場に来ない場合) ※雨天中止